

九州大学病院

研修医 上野 碧 2013年11月

研修医2年目の上野碧と申します。

これまで、1年目は福岡県北九州市の国立小倉医療センター、2年目は福岡市の九州大学病院で研修をして参りましたが、今回、地域医療研修として1ヶ月間、出水総合医療センターおよび関連病院で研修をさせていただきました。お世話になった施設は、高尾野診療所、特別養護老人ホームたかおの、野田診療所、大川内診療所、上場診療所、出水保健センターと多岐に渡り、院内では総合内科、休日の救急対応でのご指導をいただきました。

研修を通じて印象に残ったのは、患者さんと医療スタッフの距離の近さと、先生方の知識と技術の幅広さです。

各診療所では、先生を含めたスタッフが患者さんの生活背景を把握し、受診された患者さんの体調の変化だけでなく、ご家族全体の暮らしに気をかけておられました。また往診を盛んに行われており、想像していたよりも深く患者さんと関わっていることを知りました。

また、野田診療所の内村先生は、1人で多数の患者さんを診療する中で、各種エコー、上下部消化管内視鏡と様々な検査を行われていました。忙しい中でも私たち研修医にエコーや内視鏡の指導をしてくださり、大変勉強になりました。

さらに、今まで診ることは極めてまれであった90歳を超えた患者さんがそこそこにおられることや、往診で高齢者二人暮らしや老々介護の様子を実際に見て、超高齢化社会となった日本を実感し、これまでに社会の現状を学んでいなかったことの未熟さを感じました。

研修医2年目としての現在の私の立場では、今後の専門分野を決定し、まず専門医取得にむけて勉強していく必要があると考えています。

しかし、今回の地域医療研修をきっかけに、専門分野の知識だけでなく患者さんを総合的に診る幅広い知識を求め、患者さんの背景まで把握しようとする、医療知識だけでなく社会全体を把握しようとするのも医師にとって必要なスキルであると考えようになりました。

日々の診療に追われていた福岡から少し離れた場所で充実した内容の研修をさせていただき、優しい指導医の先生方、おいしい料理、きれいな星空、のどかな田園風景、そして名物の鶴に癒やされ、新たな気持ちで今後の研修に向き合えるように思います。

最後になりましたが、お世話になりました先生方、コ・メディカルの方々、事務職の方々、地域の方に御礼申し上げます。ありがとうございました。